



令和8年2月 川内市医師会在宅医療支援センター発行
住所…薩摩川内市大小路町70番26号
TEL…0996-22-4021
FAX…0996-22-8114
H P…<https://iisennet.jp>

QRコードより
いいせんネット
ホームページに
アクセスできます



平成31年2月にいいせん便り発行を開始しました。各協議会の皆様にご協力いただき、このたび第22号を発行することができました。
バックナンバー(過去発行分)を「いいせんネットホームページ」で見ることができますので、よろしければご覧ください。

川内市医師会は、薩摩川内市と受託契約を結び在宅医療介護・連携推進事業に取り組んでいます。在宅で医療や介護が必要になっても在宅医療を受けながら最期まで自分らしい生活をする「在宅医療」という選択肢を知っていただくために、在宅医療支援センターの活動や医療・介護職の取り組み・在宅で役に立つ豆知識などの情報を発信しています。

令和7年度 第2回 いいせんネット研修会 【R7.9.26開催】

テーマ「現場で活かす！きざみ食の提供と支援～安全な食支援のための実践～」

市民病院から管理栄養士の脇岡氏、言語聴覚士の丸田氏を招き、きざみ食の体験学習を行いました。異なるきざみのタイプやあんかけによる変化を実体験し、きざみだけでは嚥下食にはならないこと、食物に軟らかさとまとまりを持たせる重要性を参加者間で共有することができました。
(参加者：会場のみ66名)



令和7年度 第3回 いいせんネット研修会 【R7.12.11開催】

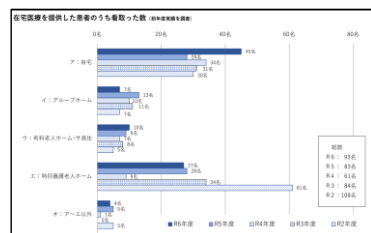
テーマ「患者・利用者・家族からのハラスメント対策～初期対応と組織の備え～」
講演：「現場で起こる暴力・ハラスメントへの備えと対応」
講師：びっぐすまいる訪問看護ステーション管理者 柳田 千草 氏

実際の事例を多く取り入れた内容で、現実的に理解し、利用者のみならずサービスを提供する側にいる職員や管理者、事業所としての対応の問題点を再確認しました。グループワークでは、事例を通して暴力に対する価値基準の捉え方について意見交換。価値基準がそれぞれ違うことから、対応の難しさと事業所で統一した対応方法を明確化することなどの重要性を認識しました。アンケートでは、ハラスメントは我慢するものと無意識に考えていたが、相談したり話し合ったりすることが重要と感じたという声がありました。
(参加者：会場36名、オンライン31名)



在宅医療・介護提供状況調査 アンケート結果

各事業所の皆さま調査にご協力いただきありがとうございました。川内地域での在宅医療の取組状況の現状を知ることができました。今後地域における研修企画や課題解決に取り組んで参ります。調査結果の詳細はいいせんネットホームページに掲載していますのでご覧ください。



福祉フェアinくまのじょう 【12月2日開催】

セントピアで開催された福祉フェアに、在宅医療相談ブースを設置させていただきました。ホールでは、歯科衛生士から口腔ケアに関する講話をさせていただき、70名を超える来場者があり、皆さん熱心に聞かれていました。



令和7年度 医療介護連携に関する意見交換会 【R7.11.6開催】

テーマ「入退院調整とデジタル活用のいま～地域で共有する連携のかたち～」
演題：「令和7年度川薩地域入退院調整ルールアンケート結果について」
報告者：川薩保健所健康企画課健康増進係保健師 狩宿 綾華 氏
説明：「地域の医療と介護をつなぐデジタル活用について」
説明者：かごネット運営事務局 帰山 なつみ 氏
川内市医師会在宅医療支援センター 森園 彩

多職種連携のポイントやデジタル活用について意見交換を行いました。各ツールの特徴や機能の違いを理解し活用すれば、情報伝達やコミュニケーションの効率化に有効である一方で、利用イメージが沸かないという意見もあり、ICTツール活用の理解を深めていく取組みの必要性を感じました。
(参加者：会場49名、オンライン13名)

情報発信および関係者の皆様との連携強化を目的として、公式Instagramアカウントを開設しました。当センターの取り組みや最新情報などを随時発信してまいります。
https://www.instagram.com/ka_sendai_zaitaku/



身に付くミニ勉強会 「歯科衛生士に直接学ぶ口腔ケア」 【実習】

今回の研修会では、時間帯を変えて同じ内容の研修を2回ずつ実施しました。



（文責：川内地区栄養士会 常盤美幸氏）

私たち川内地区栄養士会は、望ましい食生活の普及と会員の専門的研修等による資質の向上に努め、地域住民の健康に寄与することを目的として活動しています。現在会員は医療機関、福祉施設、在宅、公的機関に所属する合計32名です。食に関する様々な情報があふれる昨今ではありますが、食の専門家として、対象者の状態に合わせた食の楽しみと健康の実現を目指して、対象者に寄り添う食生活支援でありたいと職務に邁進しています。発足時の目的は、主に病院へ所属する管理栄養士はひとつの機関に1～2人であることから、病態栄養の給食について情報共有し、医療現場で患者様への食事の質を向上させることでありました。研修では病態の栄養管理や栄養の専門知識をはじめ、医師による治療の現状に関する講話や緩和ケア認定看護師による講話、歯科衛生士による講話、リハビリや運動に関することなど、関係職種との連携も心がけています。食生活に関する普及啓発活動では、昨年は医師会主催「親と子の健康教室」への協力、野菜の日クッキング講座などを実施しました。新型コロナウイルスの対応に迫られた時期には、オンラインでの研修も実施し、地区内の栄養士がいつでも相談・情報交換できるネットワークが途絶えないように努めました。この会の活動を継続していきたいという思いをあらたにするとともに、この会のネットワークの大切さを実感しているところです。また、個人の望ましい食生活の実現には、多職種の皆様との協力が欠かせないことも実感しています。皆様との楽しい交流も出来ればと願っていますので、どうぞお声掛けくださいませ。



野菜の日



研修会



親と子の健康教室

◆バイタルリンクを活用されていますか？

患者様の情報共有、入退院支援、施設入所等の情報共有など、さまざまな活用方法があります。
例：◎転院先や入所先へ患者さんのリアルを情報提供！
(リハビリや歩行状態・食形態などの様子も画像・動画で共有可能)

◎患者様の日々の様子を情報共有(複数の事業所が連携している場合、1回の投稿だけで情報共有ができます！)
操作方法や具体的な使い方など、ご説明(提案)に伺いますので、お気軽にお問い合わせください！

◆職員向け出前講座をお受けします

当センターの職員が無料で出前講座に参ります。事業所勉強会等にご活用ください。

【内容例】・在宅医療とは ・バイタルリンクの活用方法
・口腔ケアの基礎知識や義歯のお手入れ方法 ※その他相談に応じます。

